

令和二年度 励ましのことば

本日、晴れの日を迎えられた皆さん、御卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。思い出深い学び舎を巣立ち、大きな夢や目標を持って、新たな活躍の場に踏み出そうとされる皆さんの門出に当たり、励ましのことばを贈ります。

振り返ると、皆さんの高校生活は、未曾有の新型コロナウイルス感染症の流行によって、入学時に思い描いたものとは随分様変わりしたものとなったのではないかと思いません。授業や部活動、学校行事など、当たり前が当たり前ではないことを経験し、進学や就職を前に、時には不安と焦りに駆られたこともあったでしょう。そのような気持ちを抱えた皆さんを支えたのは、御家族はもちろんの

こと、多くの仲間や先生方の存在だったので  
はないでしょうか。困難な状況の中でも目標  
を見失わず、真摯に学業に励み、そして今日  
という日を迎えられる皆さんの忍耐と努力  
に、心からの敬意を表します。

昨年十二月、小惑星探査機「はやぶさ2」  
が、惑星や地球の生命の起源に迫るため、地  
球近傍にある小惑星リュウグウを構成する物  
質のサンプルを採取し帰還したというニュー  
スは、日本を元気づけ、明るいい気持ちにさせ  
てくれました。「はやぶさ2」は、過酷な宇  
宙空間をこれといった故障もなく六年間旅  
し、途中、荒れた岩肌で覆われたリュウグウ  
へのタッチダウンを二回も成功させるなど、  
高品質、高精度が求められるミッションを見  
事に達成しました。成功の裏には、多くの研  
究者や技術者たちが協力し合い、想定外まで  
も想定した入念な準備がありました。メンバ

ーが各自の個性を發揮しつつ、一つのチームとしてそれぞれの役割を全うしたのです。プロジェクトに携わった福井県出身の若手研究者は、「誰も行ったことのない場所で、誰もやったことのないミッションに携われるのはとても光栄」と述べています。

予期しない病気の流行や災害の発生等だけにとどまらず、技術革新のさらなる進展や価値の多様化と相俟って、これから皆さんを待ち受ける社会は、誰もが未経験の、予測のつかない世界です。立ちはだかる壁を前にくじけそうになったら、切磋琢磨しながら共に歩んだ、自分と仲間の姿を思い出してください。厳しくも温かい目で見守ってください。 「はやぶさ2」が、地球の重力に助けられて自らの推進力で地球の軌道から飛び出し、新たなミッション達成に向けて再び未知の宇宙へと

旅立ったように、皆さんも、「ふるさと福井」で培った誇りと自信を勇気に変えて、未来へと大きく羽ばたいてください。福井にいても福井を離れていても、新しい時代を自らの手で切り開く皆さんのチャレンジを大いに期待しています。

最後になりましたが、今日まで、皆さんを限りない愛情で育ててこられた御家族の皆さまに敬意を表し、校長先生はじめ諸先生方の御指導、同窓会ならびに関係の皆さま方の多大なる御支援に心から感謝を申し上げ、励ましのことばといたします。

令和三年三月二日

福井県教育委員会